

首都高速道路の料金施策に係る措置等について

【国土交通省】

■ 要請事項

- 1 当面の新たな料金割引については、国と地方の検討会において、その効果等を検証した上で、必要となる割引については、継続して実施すること。
- 2 対距離料金制の導入及び新たな料金割引の実施にあたっては、その財源について、地方に負担を求めないこと。

■ 要請の背景

- 首都高速道路の料金制度については、平成23年2月16日に国において公表された「高速道路の当面の新たな料金割引」において、「料金圏のない対距離制の平成24年からの導入」「環境ロードプライシングの継続」「地方からの意見を踏まえた割引の実施」などを行うとともに、首都圏、阪神圏の利用しやすい料金体系について、国と地方の検討会を設置し、引き続き検討するとされました。
- 本市では、従来から交通集中による渋滞、沿道環境を改善するための取組を、本市南部地域において進めていますが、公表された「高速道路の当面の新たな料金割引について」では、これまで本市が要望してきた内容が反映されており、高速道路の利用促進及び内陸部から臨海部への交通誘導に寄与するものと評価しています。

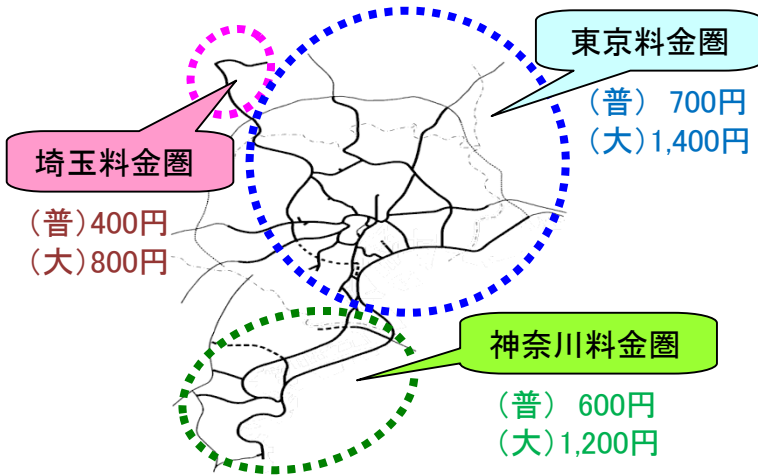
■ 効果等

- 高速道路の有効活用により一般道の渋滞が改善
- 平均旅行速度が上がり二酸化炭素、窒素酸化物が削減
- 沿道環境・地球環境の改善

現行料金制度

同一会社内で異なる料金が適用され、わかりにくく移動を阻害

現行：均一料金制(料金圏あり)



現行：環境ロードプライシング

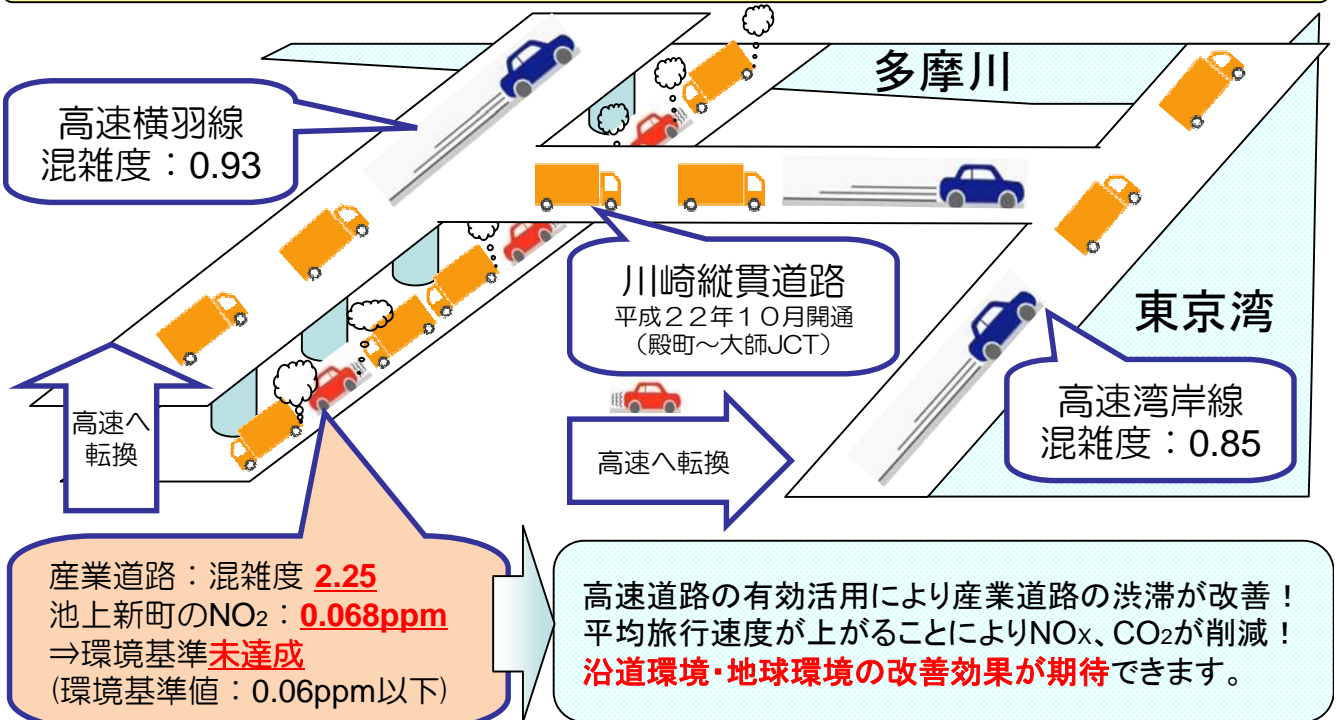
神奈川線 通常1,200円⇒割引後950円



産業道路に東京・横浜方面の交通が集中し、渋滞が発生！！

(H17年度センサス)	貨物車交通量 (平日24時間)	混雑度	混雑時平均 旅行速度(km/h)
産業道路	38,177台	2.25	21.2
首都高速横羽線	30,561台	0.93	68.0
首都高速湾岸線	35,996台	0.85	76.9

適切な料金施策により産業道路の交通を横羽線、湾岸線へ転換



この要請文の担当課／建設緑政局計画部広域道路課 TEL044-200-2039

京浜急行大師線連続立体交差事業について

【国土交通省】

■ 要請事項

- 1 連続立体交差事業において、今後増大する必要な財源を十分に措置すること。
- 2 京浜急行大師線連続立体交差事業については、地下式により施行するため膨大な事業費を必要とすることから、計画的な事業執行に必要な財政措置を講ずること。

■ 要請の背景

- 京浜急行大師線連続立体交差事業は、昭和63年度に国の事業採択を受け、平成5年6月に都市計画決定、平成6年3月に事業認可を得て、事業に着手しました。
- 本事業は、臨海部における近年の増大する交通量に対応する円滑な交通流の確保を目的としており、踏切における交通渋滞や事故を解消するとともに、騒音、排気ガス等の自動車公害の低減、分断されている市街地の一体化や防災性の向上が図れることから、着実な事業進捗が重要な課題となっています。
- 早期に事業効果を発揮させるため、段階的整備区間（東門前駅から小島新田駅間）の工事を推進していますが、今後、さらに事業費の増大が見込まれています。

■ 費用

- 総事業費：約1,470億円
(H24年度計画事業費 約53億円 (国費 約20億円))
- 補助対象事業費：約760億円 (現線高架想定額に対する補助対象額)
- 費用便益 (B/C)：1.2 (H19年度再評価実施)

■ 効果等

- 14箇所の踏切除去による交通渋滞の緩和、沿線環境の改善
- 地域分断の解消による地域の一体化の推進

新川崎・鹿島田駅周辺地区の整備推進について

【国土交通省】

■ 要請事項

新川崎・鹿島田駅周辺地区の整備について、各事業の進展に合わせた必要な財政措置を講ずること。

■ 要請の背景

- 新川崎地区は、研究開発、産業の創出・育成、商業、都市型住宅などの諸機能が集積したまちづくりを推進し、新たな土地利用計画及び都市基盤施設計画に基づき整備を進めています。特に、鹿島田こ線歩道橋については、平成23年度、下部工である橋脚架設等を進めており、平成24年度には、上部工である橋桁架設を予定し、同年度中の完成としています。また、交通広場及び自転車等駐輪場についても、併せて整備を行い、平成25年度中の完成としています。
- 鹿島田駅周辺地区は、現在は老朽化した木造住宅が多く、道路等の公共基盤も未整備であることから、市街地再開発事業により、土地の高度利用と都市計画道路等の公共施設整備を行うことで、地区の防災性の向上を図り、地域生活拠点としてのまちづくりを進めています。事業実施にあたっては、本市初の株式会社施行による再開発事業として進めており、既に権利変換計画の認可がなされ、平成23年度に着工し、平成26年度の事業完了を目指しています。

■ 費用

- 平成24年度計画事業費 約27.4億円（国費 約13.0億円）
 - ・ 新川崎地区整備事業関連 約11.7億円（国費 約4.7億円）
 - ・ 鹿島田駅周辺再開発事業関連 約15.7億円（国費 約8.3億円）

■ 効果等

- 特色ある市街地形成、地域特性を活かした安全で魅力ある地域生活拠点が形成
- 大規模な低未利用地や木造住宅密集地区の解消に伴う防災性の向上

新川崎・鹿島田駅周辺地区位置図（神奈川県川崎市）



この要請文の担当課 / まちづくり局市街地開発部市街地整備推進課 TEL 044-200-3803

登戸・向ヶ丘遊園駅周辺地区の整備推進について

【国土交通省】

■ 要請事項

- 1 登戸駅周辺地区及び向ヶ丘遊園駅周辺地区における建築物等の移転及び公共施設等の整備推進に対する財政措置を講ずること。
- 2 都市計画道路登戸1号線及び登戸3号線の早期整備に対する財政措置を講ずること。
- 3 ニヶ領用水小泉橋架替の整備推進に対する財政措置を講ずること。
- 4 向ヶ丘遊園駅連絡通路の整備推進に対する財政措置を講ずること。

■ 要請の背景

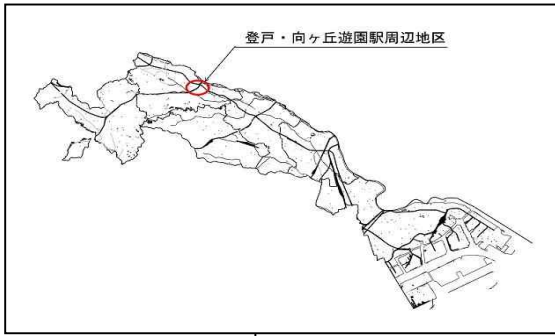
- 昭和63年9月に土地区画整理事業の計画が決定した本地区は、本市の生活拠点として、また、多摩区の商業、業務の中心地区としてふさわしいまちを目指し、土地区画整理事業により都市計画道路等公共施設の整備等による総合的な土地利用を行い、地域生活拠点機能の確立並びに商業・業務機能を強化するとともに、安全で快適な市街地形成を推進しています。
- 向ヶ丘遊園駅周辺への連絡通路の整備により、駅周辺の円滑な移動経路を確保するとともに、回遊性の向上と地域の交流を促進しています。

■ 費用

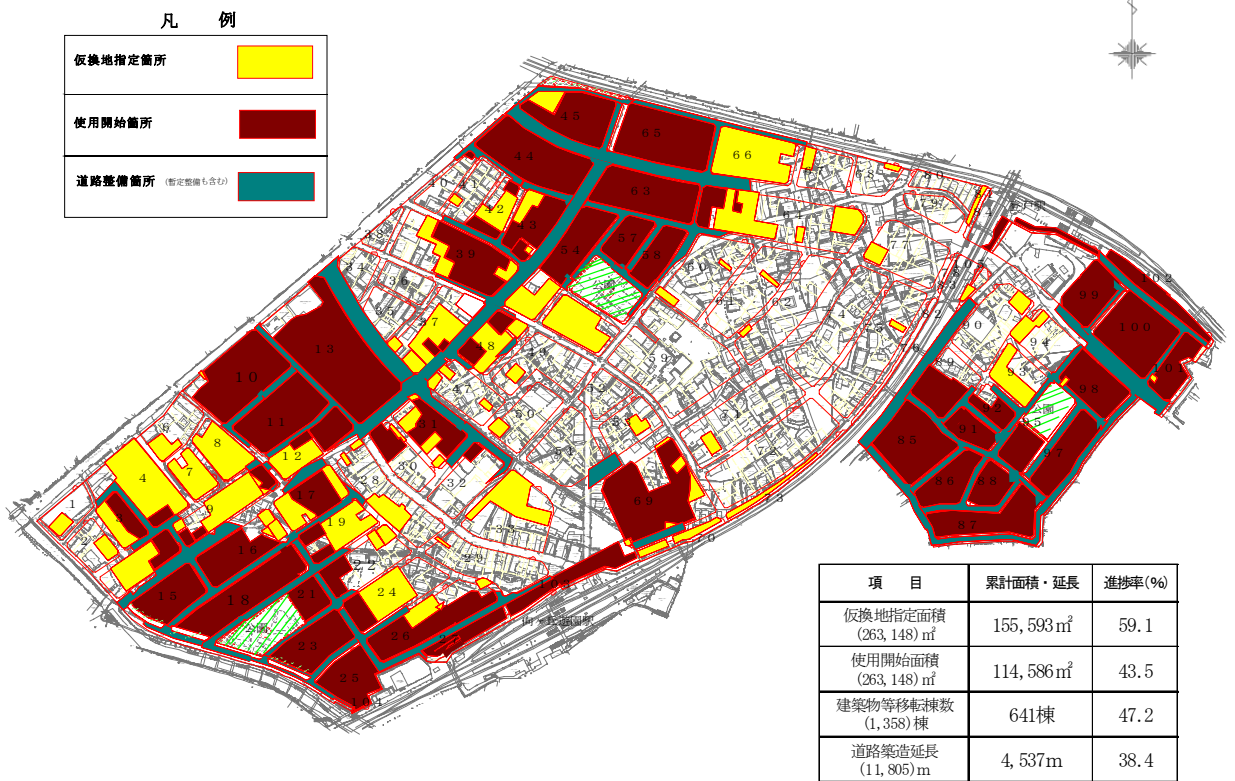
- 平成24年度計画事業費 約13.2億円 (国費 約5.8億円)
 - ・ 登戸1号線、3号線整備等 約2.9億円 (国費 約1.6億円)
 - ・ 区画道路、小泉橋架替整備等 約5.9億円 (国費 約2.4億円)
 - ・ 向ヶ丘遊園駅連絡通路整備 約4.4億円 (国費 約1.8億円)

■ 効果等

- 区画整理事業による密集市街地解消及び防災性の向上
- 都市計画道路整備による周辺幹線道路の渋滞緩和
- 駅周辺整備による交通結節機能の強化
- 連絡通路整備による地域分断の解消



川崎都市計画事業登戸土地区画整理事業進捗図 (平成23年3月末 現在)



この要請文の担当課 / まちづくり局登戸区画整理事務所	TEL 044-933-8511
交通政策室 駅施設改善対策担当	TEL 044-200-2348

